

# トヨタ純正

## バックブザー

### 取付要領書

このたびは、トヨタ純正「バックブザー」をお買いあげいただきありがとうございました。  
本書は、「バックブザー」の取り付け要領について記載してあります。  
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

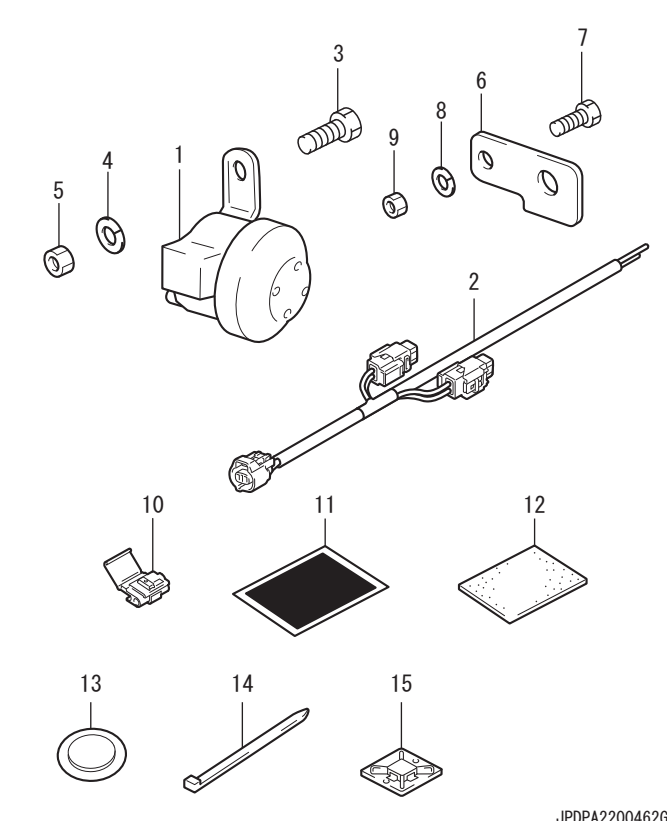
#### 品番

品 番
086A2-B2010

※ 夜間消音機構付き

#### 構成部品

No.	品 名	個数
1	バックブザー	1
2	バックブザー用ハーネス	1
3	ボルト (M8×ℓ16)	1
4	スプリングワッシャー (M8)	1
5	ナット (M8)	1
6	ブラケット	1
7	ボルト (M6×ℓ16)	1
8	スプリングワッシャー (M6)	1
9	ナット (M6)	1
10	分岐コネクタ	2
11	保護シート	3
12	パッキン	4
13	ブチルテープ	1
14	バンドクランプ	4
15	クランプ	1
	取付要領書 (WEB)	1



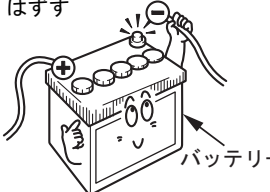
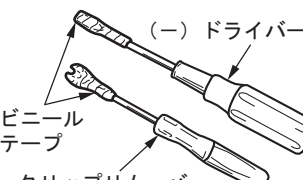
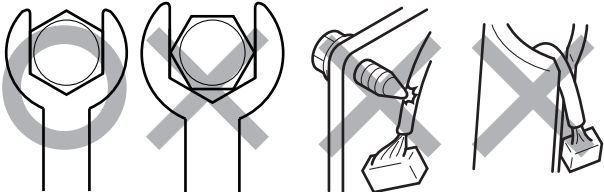
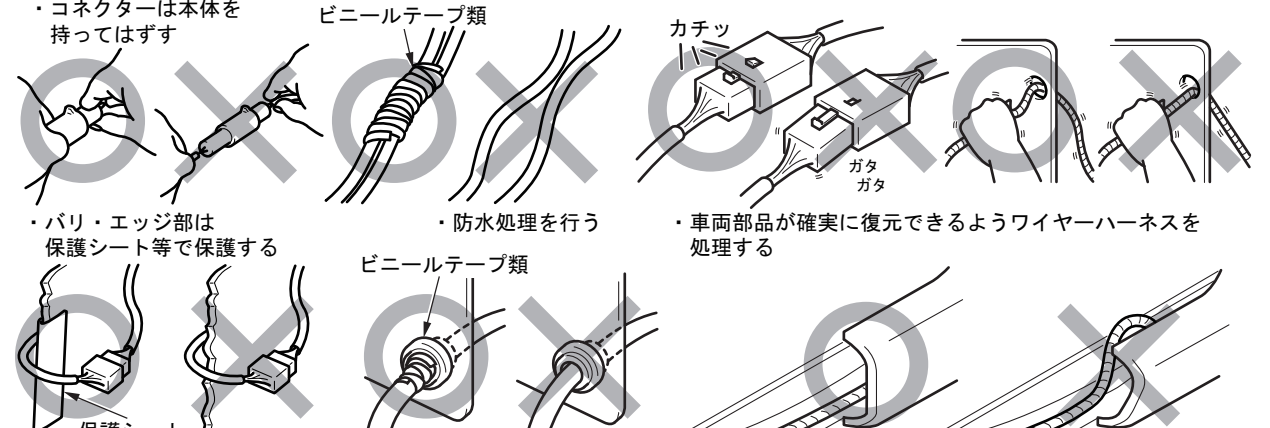
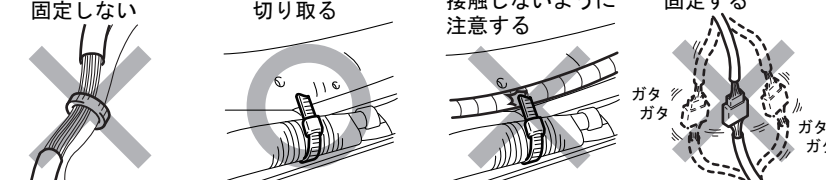
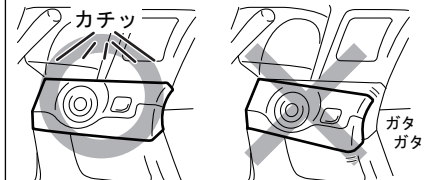
JPDPA2200462G

# 用語の定義

△警告	記載事項を守らないと生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあることを表します。
△注意	記載事項を守らないと、傷害、事故につながるおそれがあることを表します。車両や製品の故障、破損を防ぐために守っていただきたいことを表します。
👉アドバイス	作業をスピーディおよび容易にするための補足説明を表します。
「前・後・左・右」	車両運転状態（運転者が車両前方を見た状態）での向きを表します。

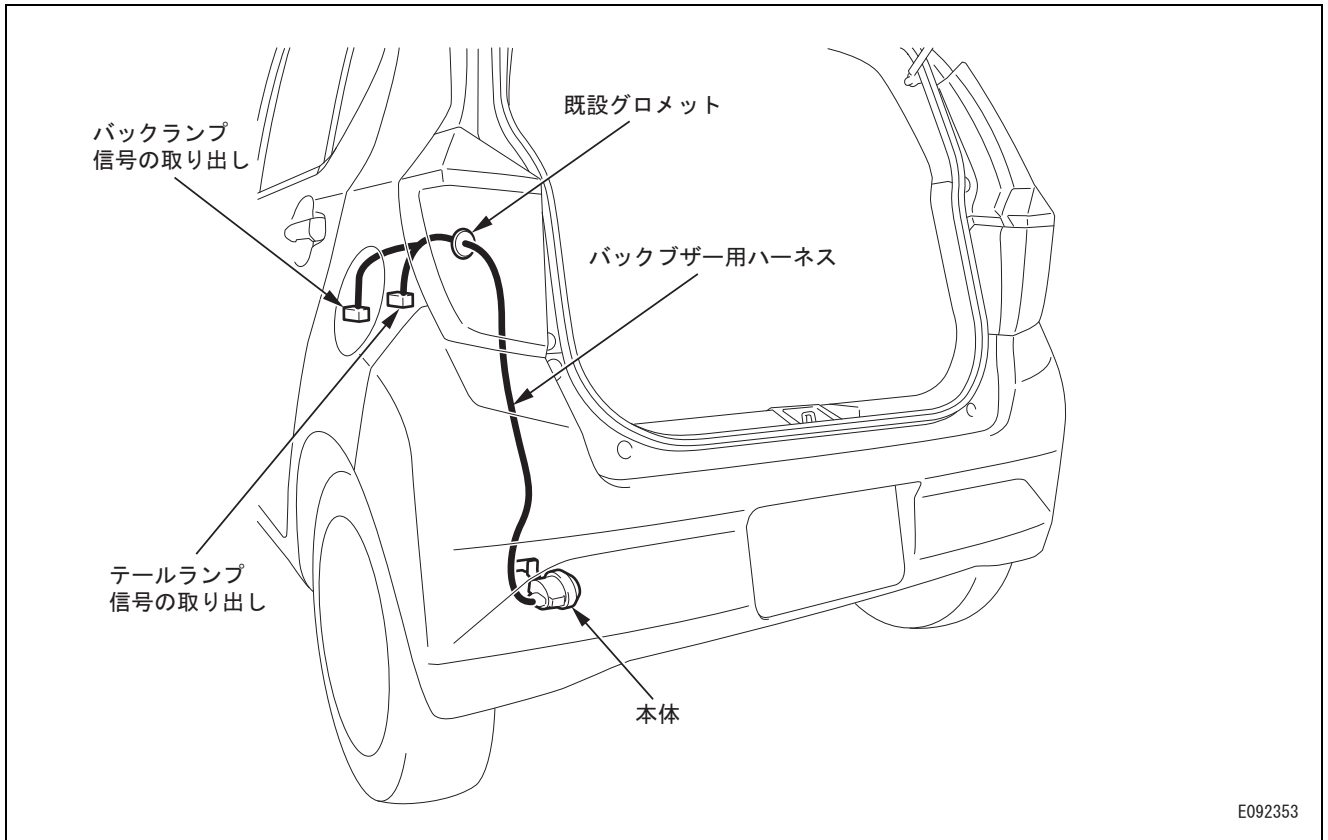
## 取り付け上の注意事項

1. 本製品を取り付ける前に車両各部の点検を行い、正常に作動することを確認してください。
2. 本文中の取り付け上の△警告、△注意、👉アドバイスは、必ず取り付けに反映させて作業を行ってください。
3. 車両部品の取りはずしに際して、タッピングスクリューやボルト、ナット類の紛失や混乱がないように部品ごとに整理して、復元する際に間違えないよう配慮してください。また、傷を付けたりしないように取り扱いに注意して作業を行ってください。
4. 本書で指示した以外の車両部品を取りはずさないでください。
5. バッテリー復元作業終了後に、車両機能部品の初期化が必要な部品がありますので、必ず初期化作業を行ってください。
6. 貼り付け面に油脂分や汚れが付いている場合、脱落や剥がれの原因になりますので、脱脂剤等で十分に拭き取り脱脂してください。
7. 脱脂剤等を使用する場合、火気に十分注意してください。

<p><b>取り付ける前に</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バッテリーの（-）端子をはずす</li> </ul>  <p>※車両によっては車両部品を取りはずす必要があります</p>	<p><b>工具での傷付き防止対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（-）ドライバー、クリップリムーバーなどの先端にはビニールテープ類を巻いておく</li> </ul>  <p>（-）ドライバー ビニールテープ クリップリムーバー</p>	<p><b>部品の取り付けは</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法にあった工具を使う</li> <li>・裏側に注意する</li> <li>・ハーネスの噛み込みに注意する</li> </ul> 
<p><b>配線は</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コネクタは本体を持ってはずす</li> <li>・ブラブラさせないビニールテープ類</li> <li>・防水処理を行う</li> <li>・コネクタ類は確実に接続</li> <li>・無理に引っ張らない</li> <li>・バリ・エッジ部は保護シート等で保護する</li> <li>・車両部品が確実に復元できるようワイヤーハーネスを処理する</li> </ul>  <p>保護シート</p>		
<p><b>バンドまたはクランプは</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はだか線には固定しない</li> <li>・余った部分を切り取る</li> <li>・切り取った末端が他のハーネスと接触しないように注意する</li> <li>・コネクタを異音がしないように固定する</li> </ul>  <p>ガタ ガタ ガタ ガタ</p> <p><b>取り付け完了後は</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車両部品は確実に復元</li> </ul>  <p>ガタ ガタ</p>		

E081923

## 取り付け概要



## 取り付けに必要な工具

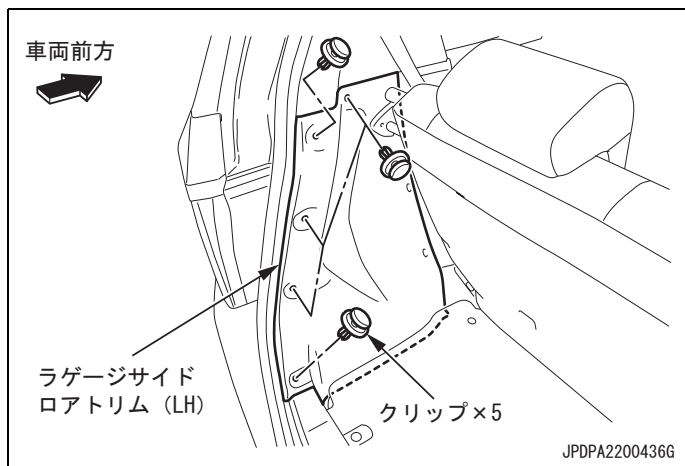
- |             |            |               |
|-------------|------------|---------------|
| (1) 一般工具    | (2) トルクレンチ | (3) 保護テープ     |
| (4) ビニールテープ | (5) はさみ    | (6) クリップリムーバー |
| (7) メジャー    | (8) カッター   | (9) 脱脂剤等      |
| (10) ケブラ手袋  |            |               |

## 取り付け要領

バッテリーの（-）端子をはずす。

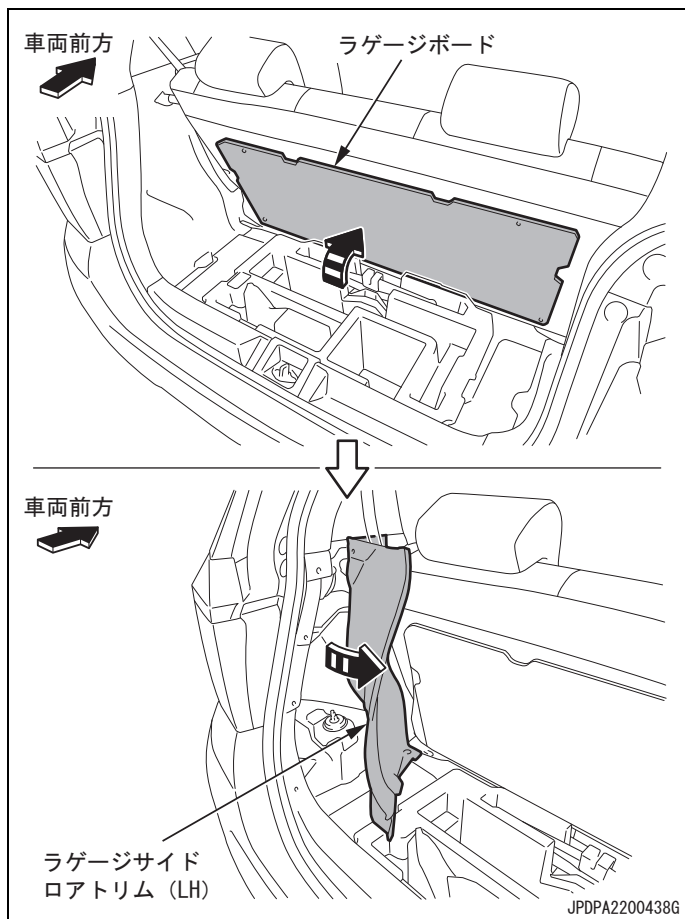
### △ 警告

バッテリーの（-）端子をはずさずに作業を行い、ショートした場合、傷害、火災および車両や製品の故障、破損の原因につながるおそれがあります。



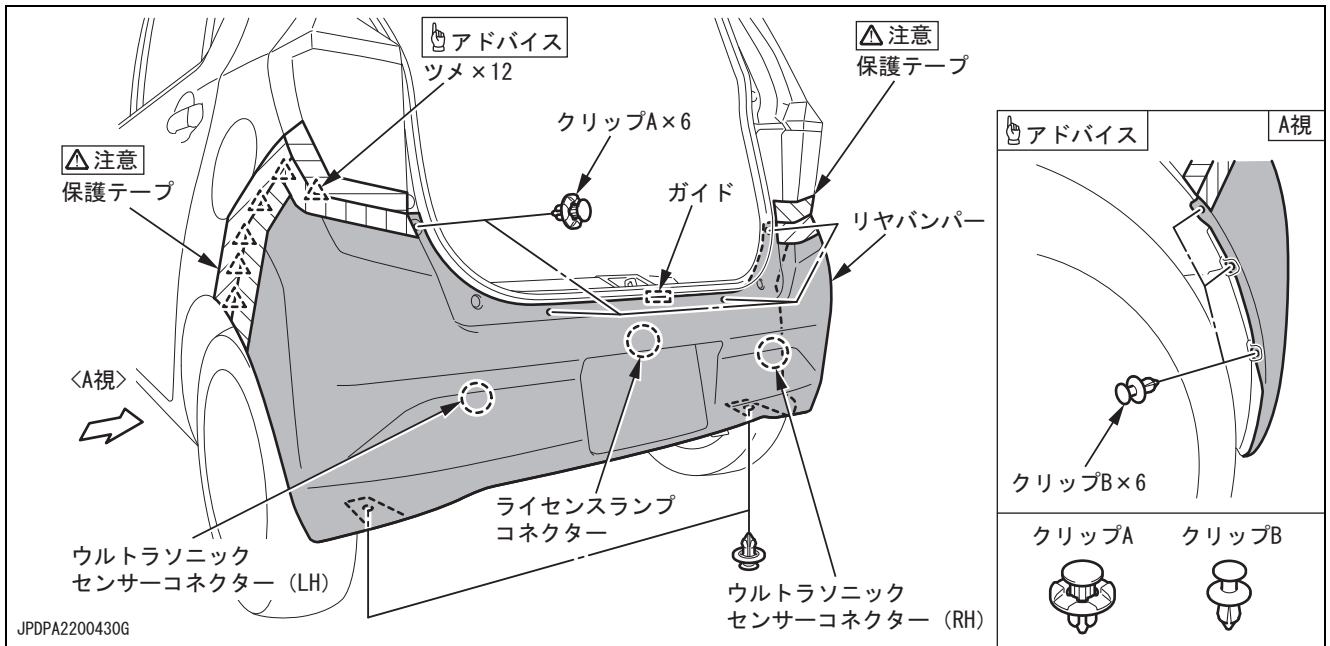
### 1. 車両部品の取りはずし

(1) ラゲージサイドロアトリム (LH) のクリップ (5箇所) を取りはずす。



(2) ラゲージボードをめくる。

(3) ラゲージサイドロアトリム (LH) をめくる。



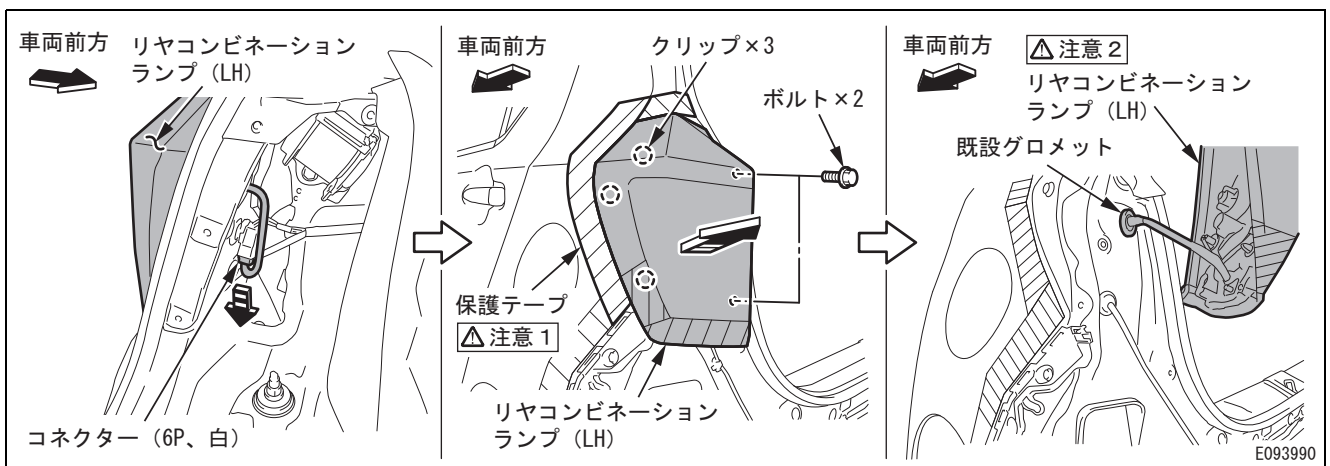
(4) リヤバンパー [クリップ 12 箇所、ツメ 12 箇所、ガイド 1 箇所、ウルトラソニックセンサーコネクター (RH、LH)、ライセンスランプコネクター] を取りはずす。

**△注意**

- ・車両に傷が付かないように、保護テープを上図の位置に貼ってください。  
(保護テープを貼らずに作業を行った場合、車両に傷が付くおそれがあります。)
- ・スマートアシストレス車には、ウルトラソニックセンサーコネクターの脱着手順は不要です。

**アドバイス**

上図は左側を示しますが、右側も同様に作業を行ってください。



(5) リヤコンビネーションランプ (LH) のコネクター (6P、白) 接続をはずす。

(6) リヤコンビネーションランプ (LH) (ボルト 2 個、クリップ 3 箇所) を取りはずす。

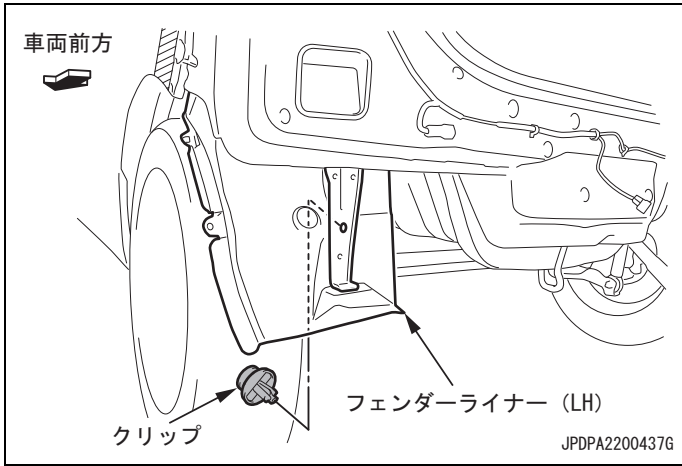
**△注意**

1. 車両に傷が付かないように、保護テープを左図の位置に貼ってください。  
(保護テープを貼らずに作業を行った場合、車両に傷が付くおそれがあります。)

(7) リヤコンビネーションランプ (LH) の既設グロメットをはずす。

**△注意**

2. リヤコンビネーションランプ (LH) が落下しないように、リヤコンビネーションランプ (LH) を手で持ちながら作業してください。  
[リヤコンビネーションランプ (LH) を落下させた場合、破損するおそれがあります。]

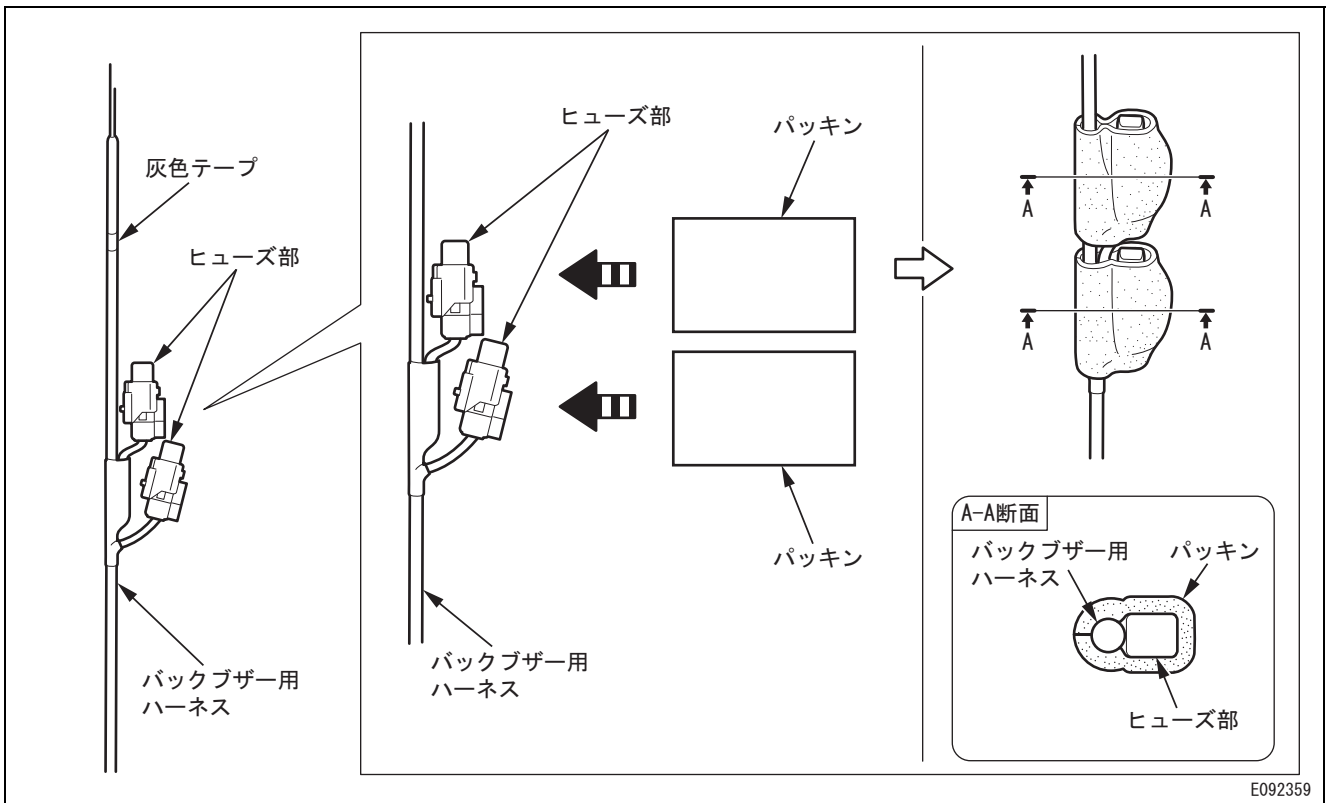


(8) フェンダーライナー (LH) 固定のクリップ  
1箇所を取りはずす。

## 2. バックブザーの取り付けおよびバックブザー用ハーネスの配線

### △注意

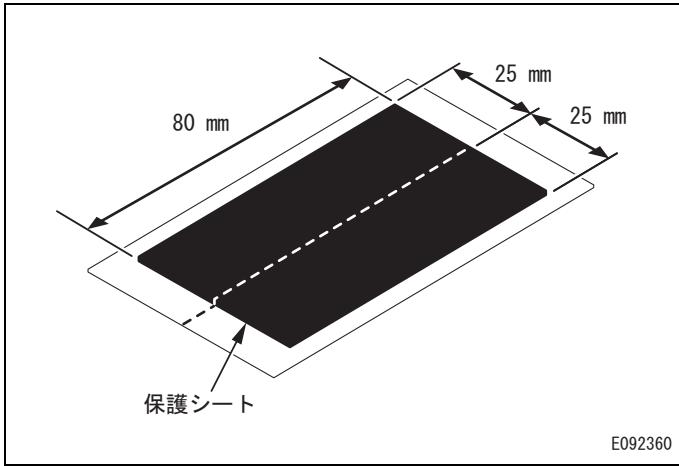
車両ブラケットなどのエッジ部付近で配線作業をする際、けがをするおそれがあるため、ケブラ手袋を着用してください。



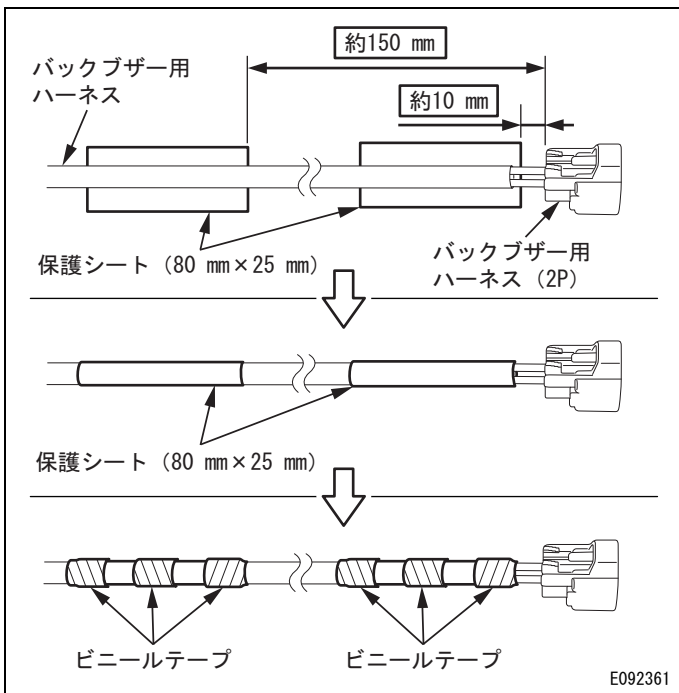
(1) パッキンをバックブザー用ハーネスのヒューズ部に巻く。(2箇所)

### 👉アドバイス

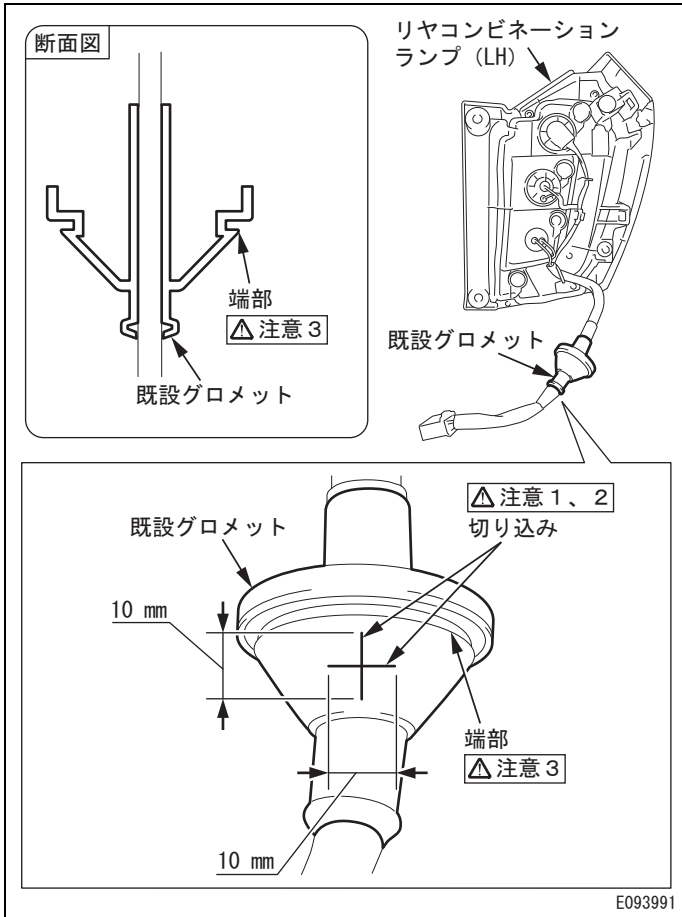
- ・ヒューズ部を上図の向きにしてください。
- ・ヒューズ部が重ならないようにしてください。



(2) 左図の寸法に従って保護シート1枚をカットする。



(3) カットした保護シート (80 mm×25 mm) 2枚をバックブザー用ハーネスに巻く。  
 (4) 保護シートを巻いたバックブザー用ハーネスにビニールテープを巻く。(各3箇所)



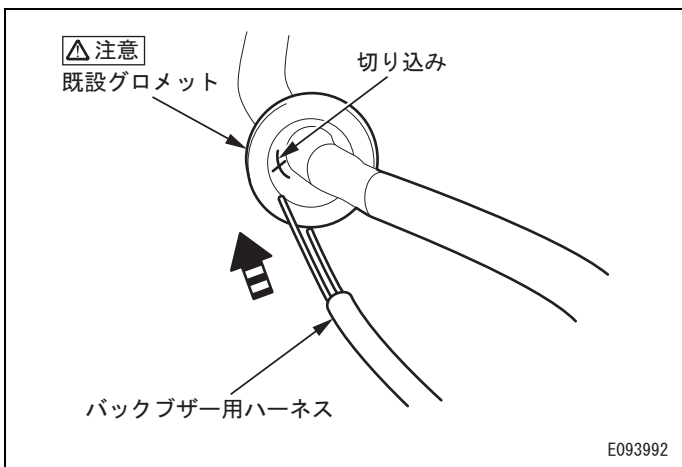
(5) 左図の寸法に従ってカッターで既設グロメットに切り込みを入れる。

△注意

1. 切り込み作業をする際、ケブラ手袋を着用して作業してください。  
(ケブラ手袋を着用しないで作業をした場合、切り込み作業時に手にけがをするおそれがあります。)
2. 切り込み作業をする際、リヤコンビネーションランプ (LH) ハーネスを傷付けないでください。  
[リヤコンビネーションランプ (LH) ハーネスを傷付けた場合、リヤコンビネーションランプ (LH) ハーネスが断線するおそれがあります。]
3. 既設グロメットの端部を超えないように切り込みを入れてください。  
(端部を超えた場合、車室内に水が浸入するおそれがあります。)

👉 アドバイス

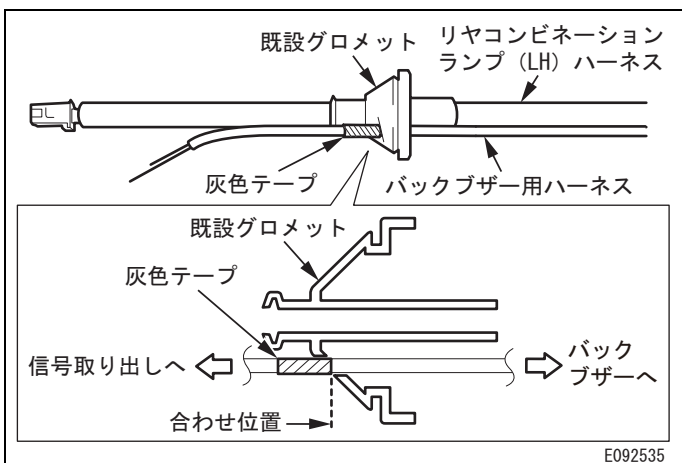
切り込みを入れるグロメット側面の位置 (全周) は、特に指定はありません。



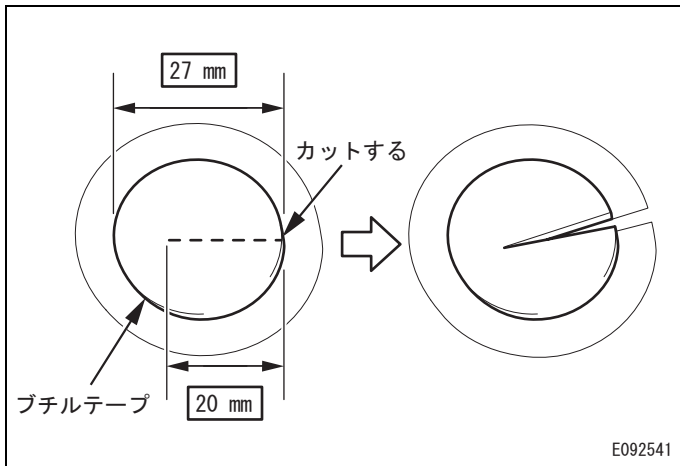
(6) バックブザー用ハーネスを既設グロメットの切り込みに通す。

△注意

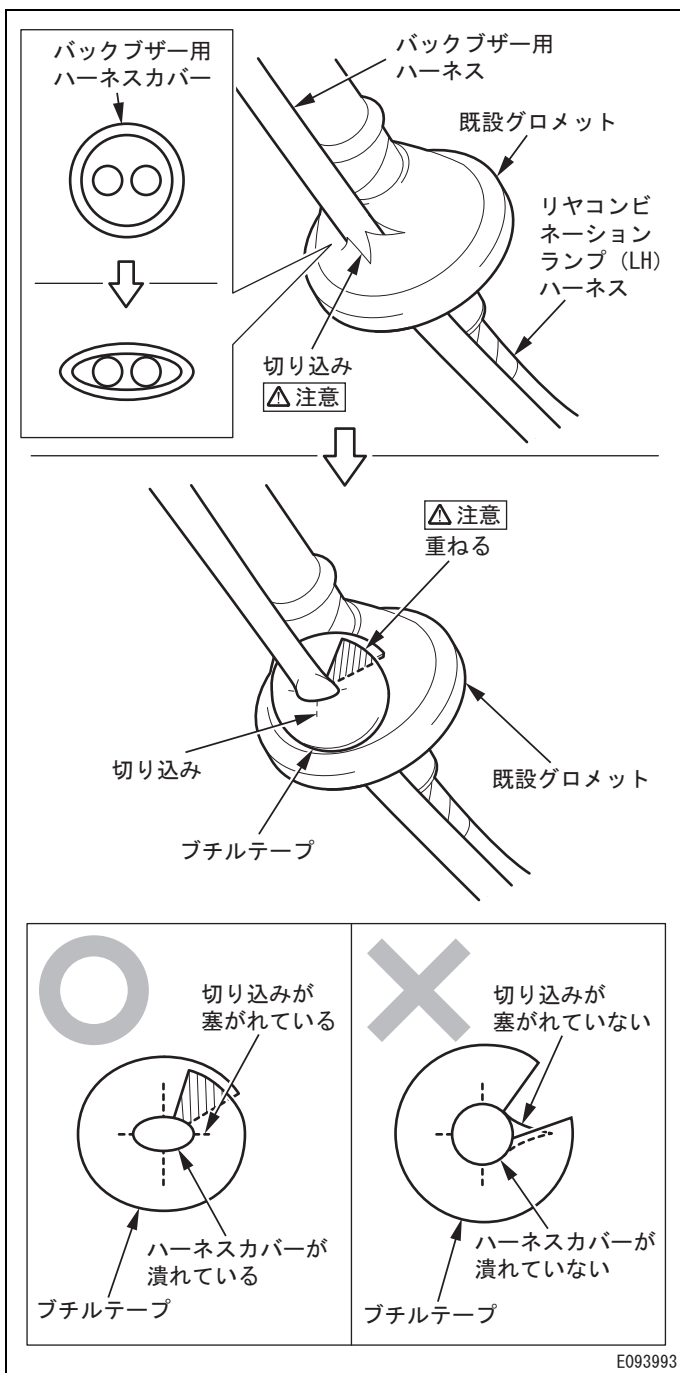
バックブザー用ハーネスを既設グロメットに通す際、無理に通さないでください。  
(無理に通した場合、既設グロメットが破れるおそれがあります。)



(7) バックブザー用ハーネスの灰色テープを既設グロメットの切り込みに合わせる。



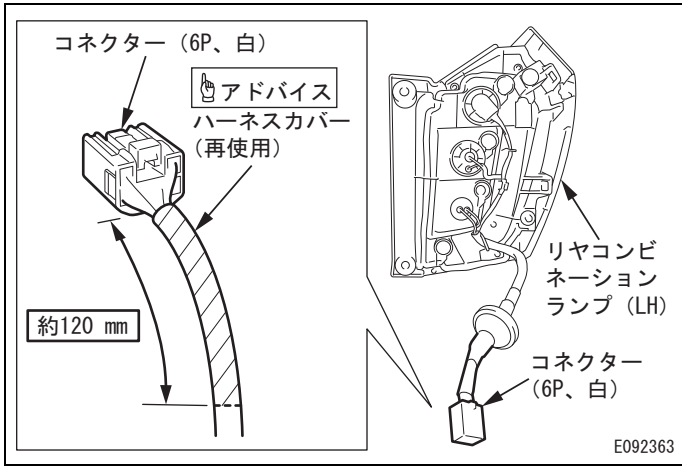
(8) 左図の寸法に従ってブチルテープをカットする。



(9) バックブザー用ハーネスカバーを少し潰して、既設グロメットにカットしたブチルテープで貼り付ける。

△注意

- ・バックブザー用ハーネスカバーを潰し過ぎないようにしてください。  
(ハーネスカバーを潰し過ぎた場合、ハーネスカバー内のハーネスが断線するおそれがあります。)
- ・ブチルテープを貼り付ける際、バックブザー用ハーネスカバーと既設グロメットの間ですき間ができないようにブチルテープを貼り付けてください。  
(バックブザー用ハーネスカバーの周りにすき間ができた場合、車室内に水が浸入するおそれがあります。)
- ・既設グロメットの切り込みを塞ぐように、重ねてブチルテープを貼り付けてください。  
(切り込みを塞がなかった場合、車室内に水が浸入するおそれがあります。)

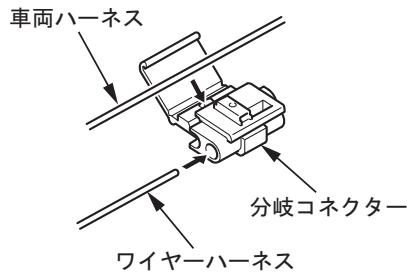


- (10) リヤコンビネーションランプ (LH) のハーネスカバーをコネクタ (6P、白) から約 120 mm の位置まで切り取る。

**アドバイス**  
切り取ったハーネスカバーは、後工程で再使用するため、紛失しないようにしてください。

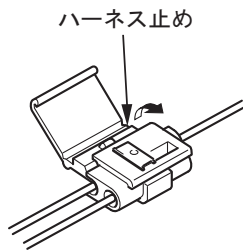
### ■分岐コネクタの接続方法

- 1) 接続する車両ハーネスを分岐コネクタにセットする。
- 2) 接続するワイヤーハーネスを分岐コネクタに差し込む。



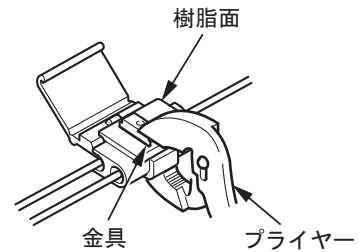
**アドバイス**  
ワイヤーハーネスは、十分に深く挿入してください。

- 4) ハーネス止めにロックする。



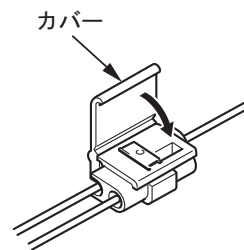
**アドバイス**  
ロックのクリック音を確認してください。

- 3) プライヤーなどで金具を樹脂面と平らになるまで押し込む。



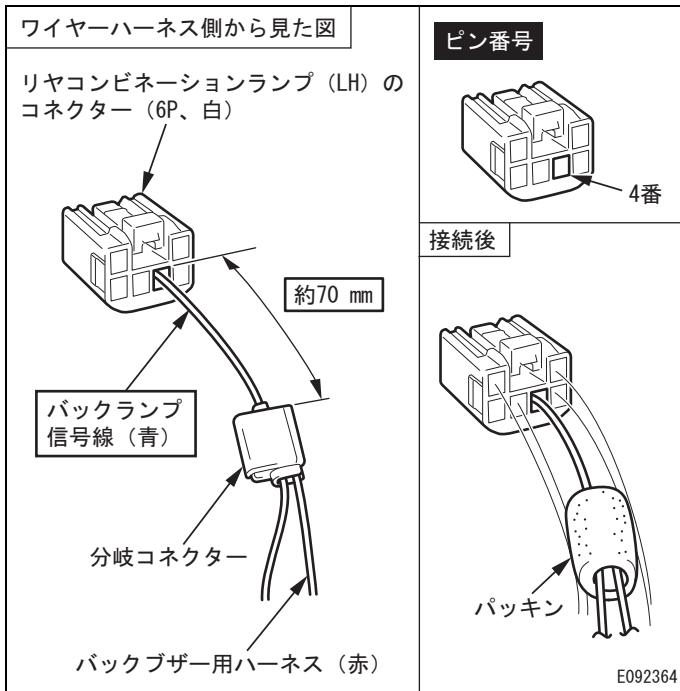
**アドバイス**  
プライヤーなどを用いて接続する場合、金具を左右均等の力で押し込んでください。

- 5) カバーをロックする。



**アドバイス**  
ロックのクリック音を確認してください。

E074605

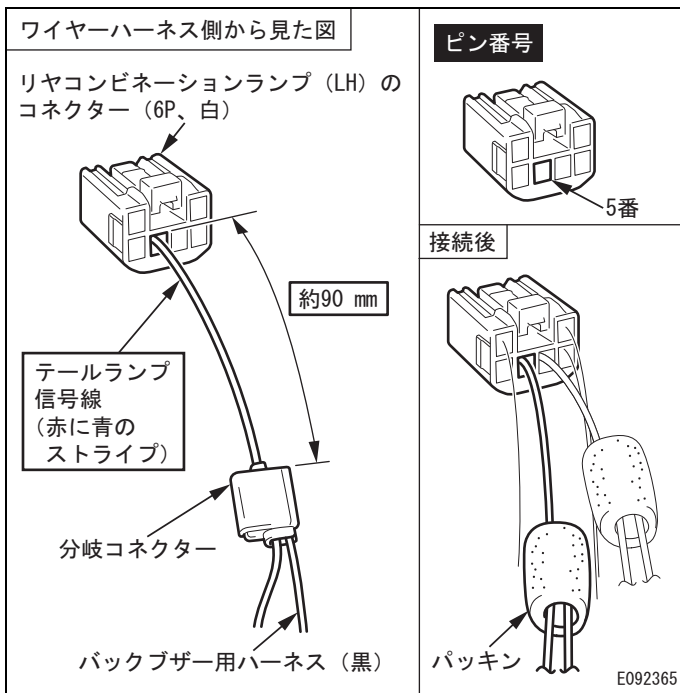


- (11) リヤコンビネーションランプ (LH) のコネクタ (6P、白) から約70 mm 離して、バックブザー用ハーネス (線色: 赤) とリヤコンビネーションランプ (LH) ハーネスのバックランプ信号線 (4番、線色: 青) を分岐コネクタで接続する。  
(分岐コネクタの接続方法 P10 参照)

△注意

線色、位置を確かめたのち接続してください。特に類似ワイヤーへの接続間違いのないようにしてください。  
(線色、位置を誤って接続した場合、車両や製品の故障、破損につながるおそれがあります。)

- (12) 分岐コネクタ接続部にパッキン1枚を巻く。

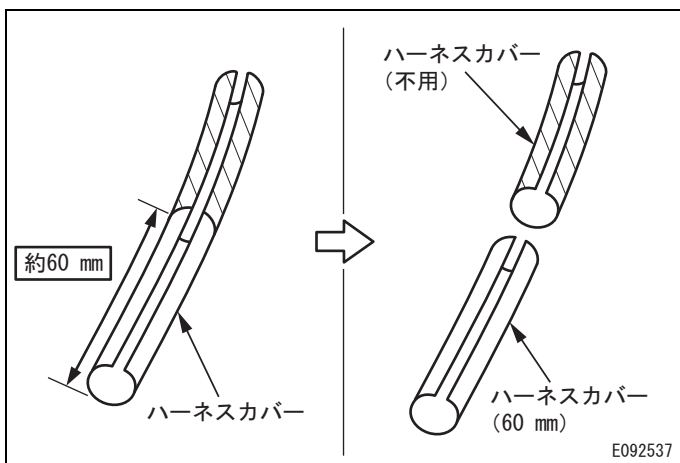


- (13) リヤコンビネーションランプ (LH) のコネクタ (6P、白) から約90 mm 離して、バックブザー用ハーネス (線色: 黒) とリヤコンビネーションランプ (LH) ハーネスのテールランプ信号線 (5番、線色: 赤に青のストライプ) を分岐コネクタで接続する。  
(分岐コネクタの接続方法 P10 参照)

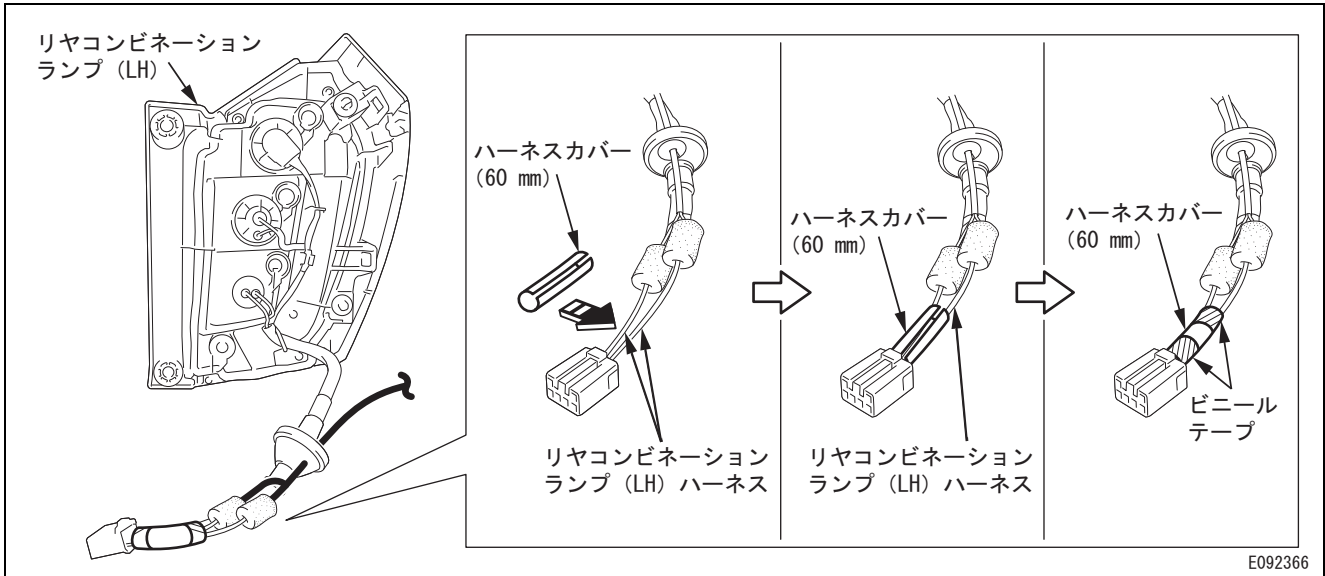
△注意

線色、位置を確かめたのち接続してください。特に類似ワイヤーへの接続間違いのないようにしてください。  
(線色、位置を誤って接続した場合、車両や製品の故障、破損につながるおそれがあります。)

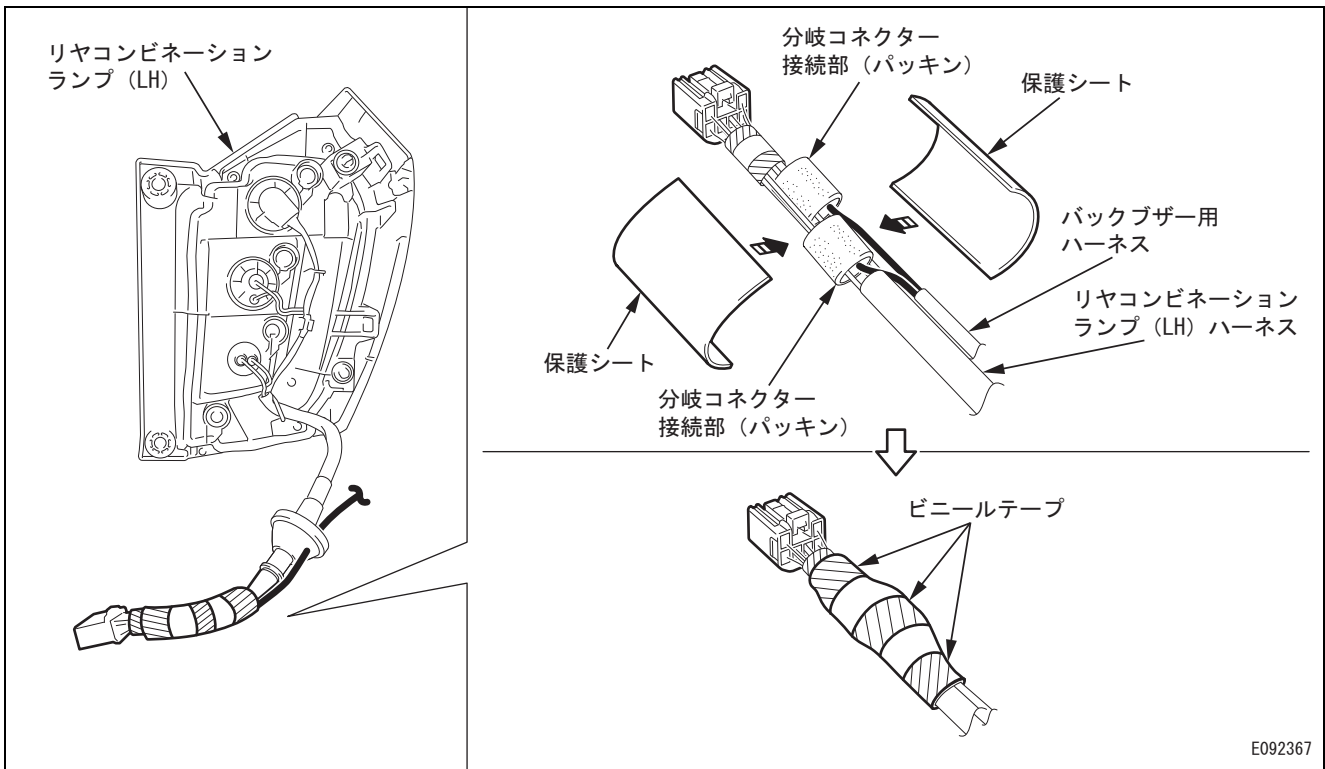
- (14) 分岐コネクタ接続部にパッキン1枚を巻く。



- (15) 切り取ったハーネスカバーを約60 mm にカットする。

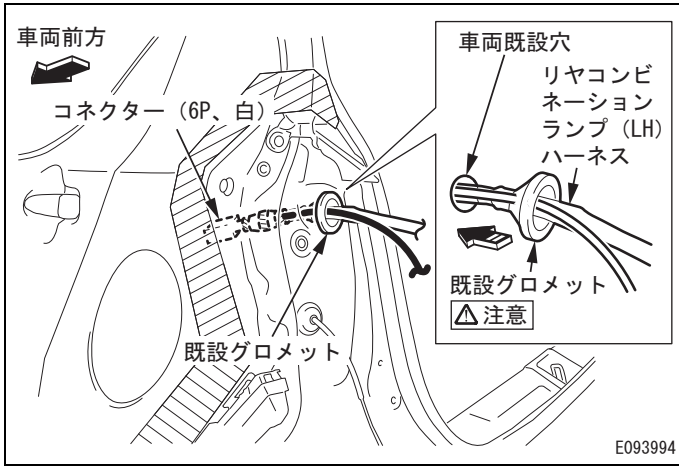


(16) カットしたハーネスカバー (60 mm) をリヤコンビネーションランプ (LH) ハーネスに巻き付け、ビニールテープで固定する。



(17) パッキンを巻いた分岐コネクタ接続部およびリヤコンビネーションランプ (LH) ハーネスに保護シート 2 枚を巻く。

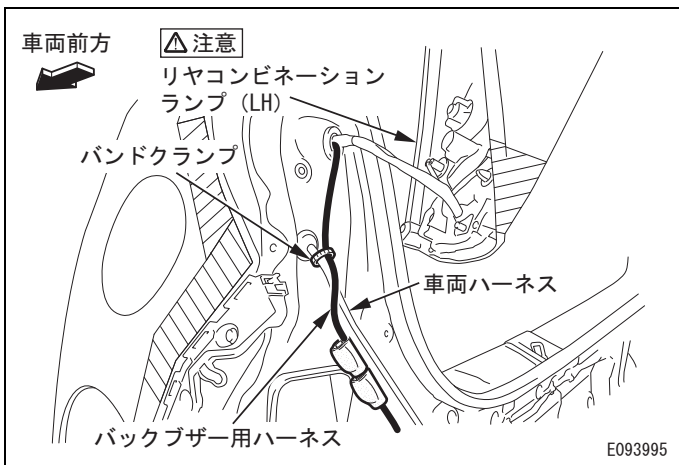
(18) 保護シートを巻いた分岐コネクタ接続部にビニールテープを巻く。(3 箇所)



(19) リヤコンビネーションランプ (LH) ハーネスの既設グロメットを車両既設穴にはめ込む。

△注意

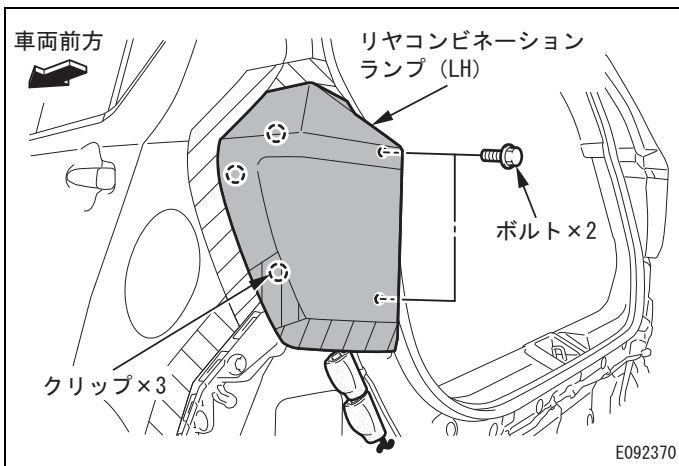
既設グロメットが確実にはめ込まれていることを、確認してください。  
(既設グロメットが確実にはめ込まれていないと、車室内に水が浸入するおそれがあります。)



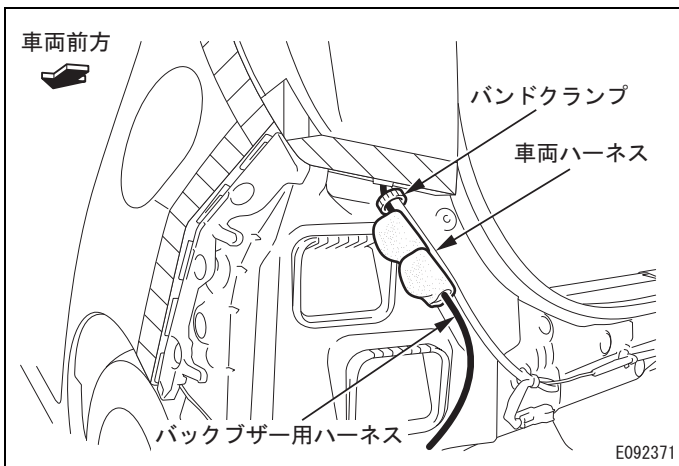
(20) バックブザー用ハーネスを車両ハーネスにバンドクランプ1本で固定する。

△注意

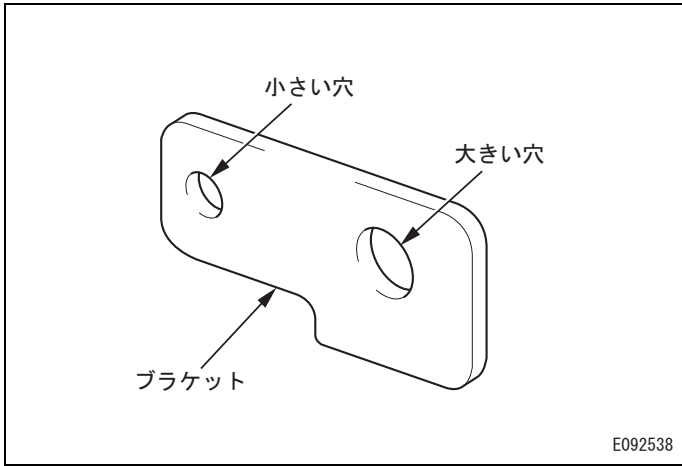
リアコンビネーションランプ (LH) が落下しないように、リアコンビネーションランプ (LH) を手で持ちながら作業してください。  
[リアコンビネーションランプ (LH) を落下させた場合、破損するおそれがあります。]



(21) リヤコンビネーションランプ (LH) を復元する。



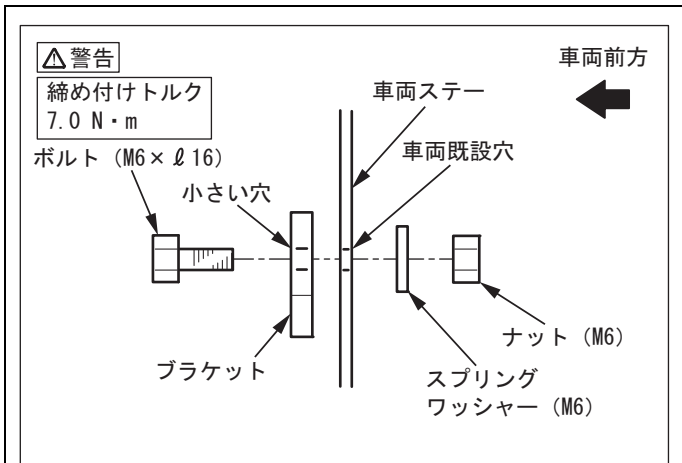
(22) バックブザー用ハーネスを車両ハーネスにバンドクランプ1本で固定する。



**アドバイス**

キット内のブラケットは、大きい穴と小さい穴があります。

- ・大きい穴・・・バックブザーをブラケットに固定する際、使用する穴です。
- ・小さい穴・・・ブラケットを車両ステーに固定する際、使用する穴です。



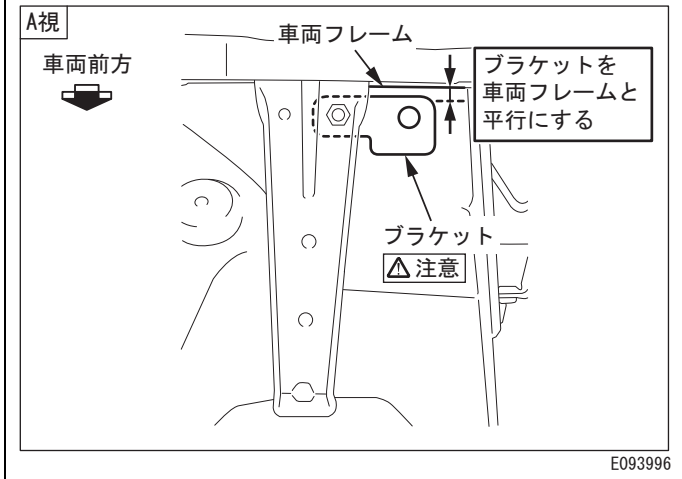
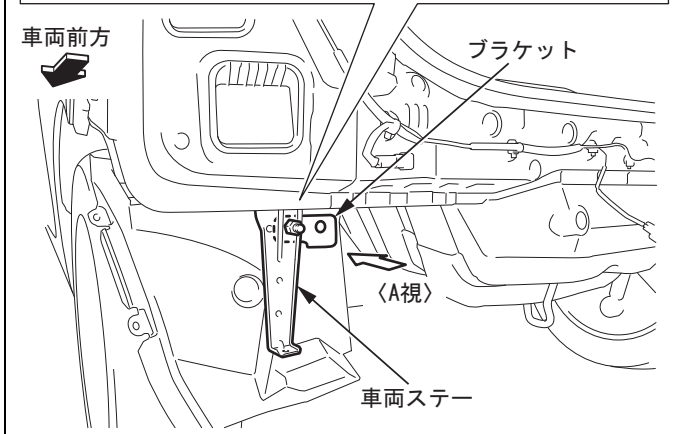
(23) キット内のブラケット (小さい穴を使用) を車両ステーにボルト (M6 x L16)、スプリングワッシャー (M6) およびナット (M6) で取り付ける。

**警告**

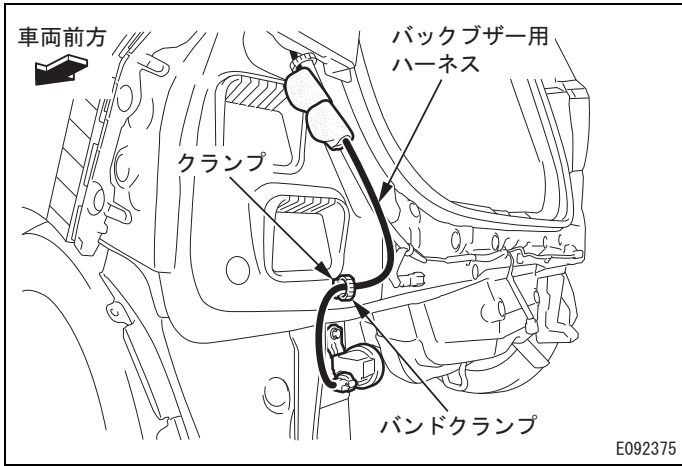
締め付けトルクを厳守して作業を行ってください。  
7.0 N・m

**注意**

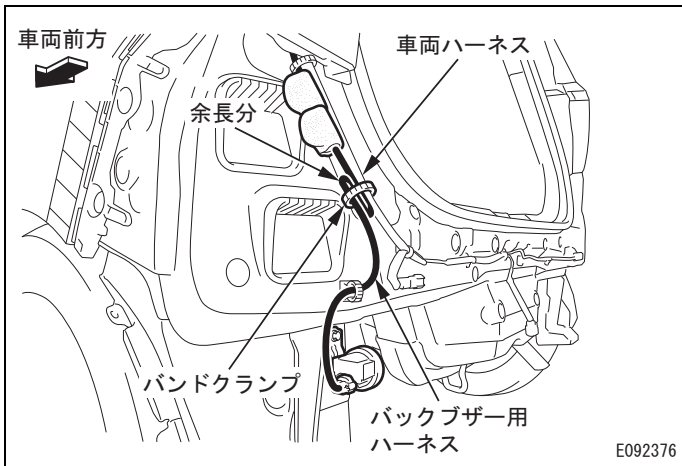
ブラケットと車両フレームが平行になるように取り付けてください。  
(平行にして取り付けなかった場合、ブラケットと車両フレームが干渉し、異音の発生、またはブラケットの破損のおそれがあります。)







(28) バックブザー用ハーネスをクランプにバンドクランプ1本で固定する。



(29) バックブザー用ハーネスの余長分を車両ハーネスにバンドクランプ1本で固定する。

## 最終確認

### 1. 取り付けの確認

- (1) 配線や取り付けに異常がないか点検する。
- (2) 特に車両ハーネスおよびバックブザーハーネスを無理に押ししたり、引っ張ったり、噛み込んだりしていないか点検する。また部品の締め付け忘れはないかも一度確認する。

### 2. 作動確認

#### △注意

輪止めにより、車両が動かないようにしてください。

バッテリーの(－)端子に車両ハーネスを接続し、バックブザーおよびリヤコンビネーションランプが下記の「作動確認要領」通りに作動するか確認する。

#### ■バックブザーの作動確認要領

	(操作手順)	(確認項目)
(1)	IG ON (エンジンは始動させない。)	バックブザーの消音確認。
(2)	IG ONのまま、シフトレバーを「R(リバース)」へシフトする。	バックブザーの吹鳴確認。
(3)	シフトレバーを「R(リバース)」のまま、テールランプを点灯させる。	バックブザーの消音確認。
(4)	テールランプを点灯のまま、シフトレバーを「R(リバース)」以外へシフトする。	バックブザーの消音確認。

E055334

#### ■リヤコンビネーションランプの作動確認

リヤコンビネーションランプ (LH) を復元してから作動確認をする。

- ・テールランプの点灯
- ・ブレーキランプの点灯
- ・ハザードランプの点灯
- ・方向指示ランプの点灯
- ・リバースランプの点灯

#### ■リヤソナー機能検査

リヤソナーの機能検査を行い正常であることを確認する。

#### 👉 アドバイス

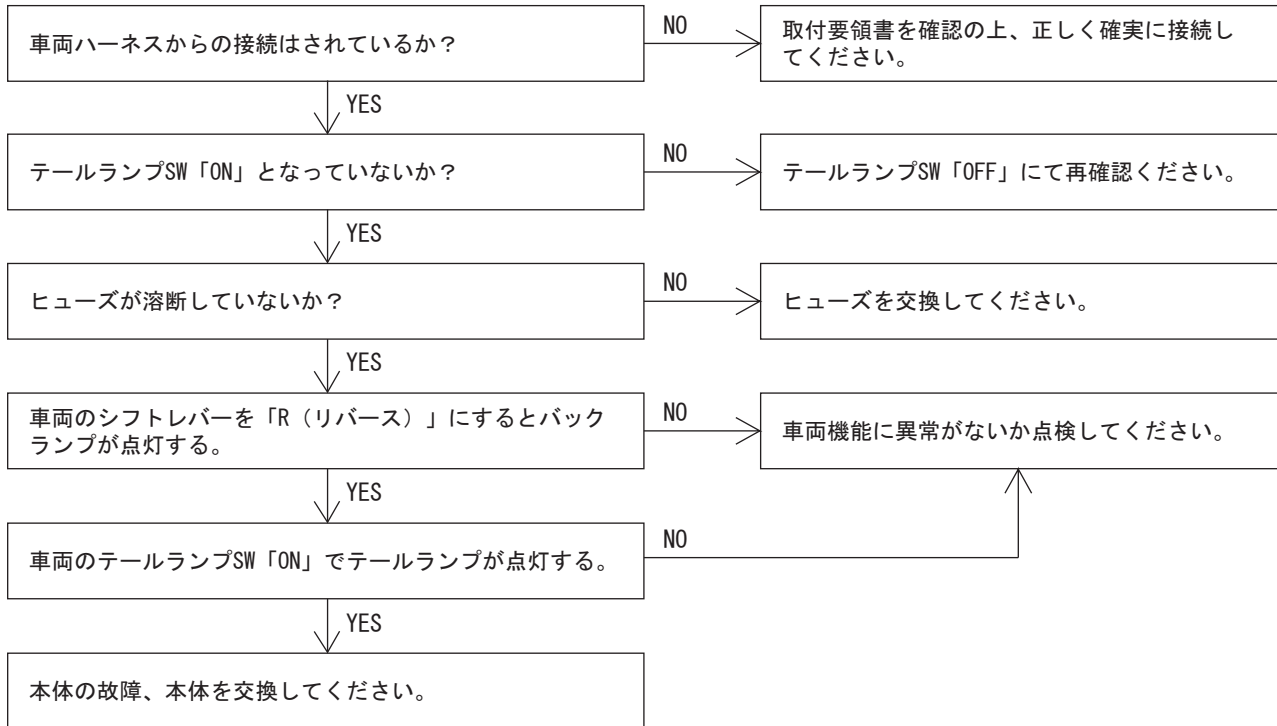
機能検査の詳細についてはサービスマニュアルを参照してください。

# トラブルシュート

## 1 シフトレバー「R（リバース）」にて作動しない。

### △注意

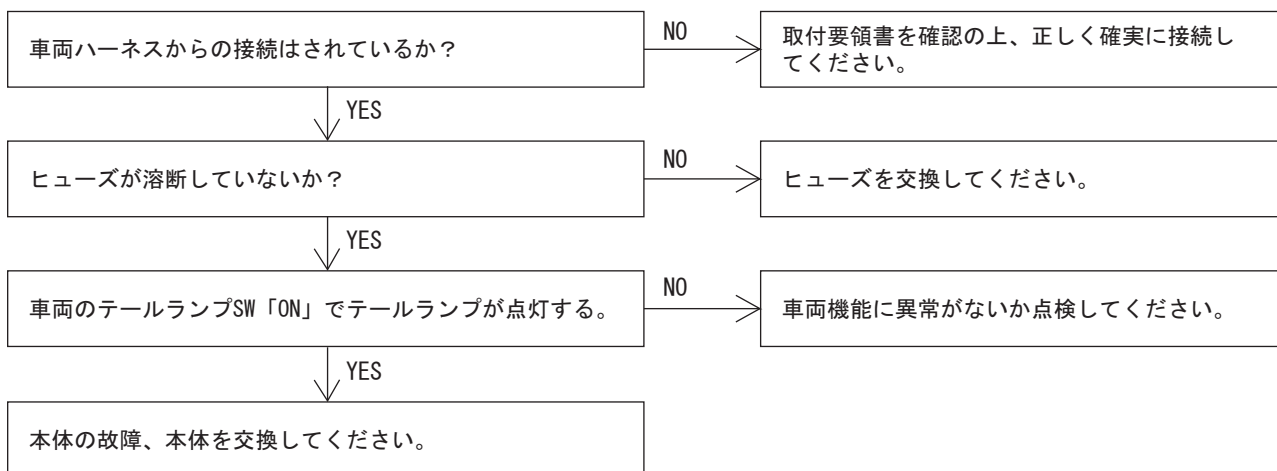
- ・ 輪止めにより、車両が動かないようにしてください。
- ・ 絶対にエンジンをかけた状態で作業しないでください。  
(エンジン停止中の作動は、バッテリー上がりになるおそれがありますので注意してください。)



## 2 テールランプSW「ON」時、消音ができない。

### △注意

- ・ 輪止めにより、車両が動かないようにしてください。
- ・ 絶対にエンジンをかけた状態で作業しないでください。  
(エンジン停止中の作動は、バッテリー上がりになるおそれがありますので注意してください。)



E094001

## 復元作業

「作動確認」完了後、バッテリー端子を元通りに復元する。

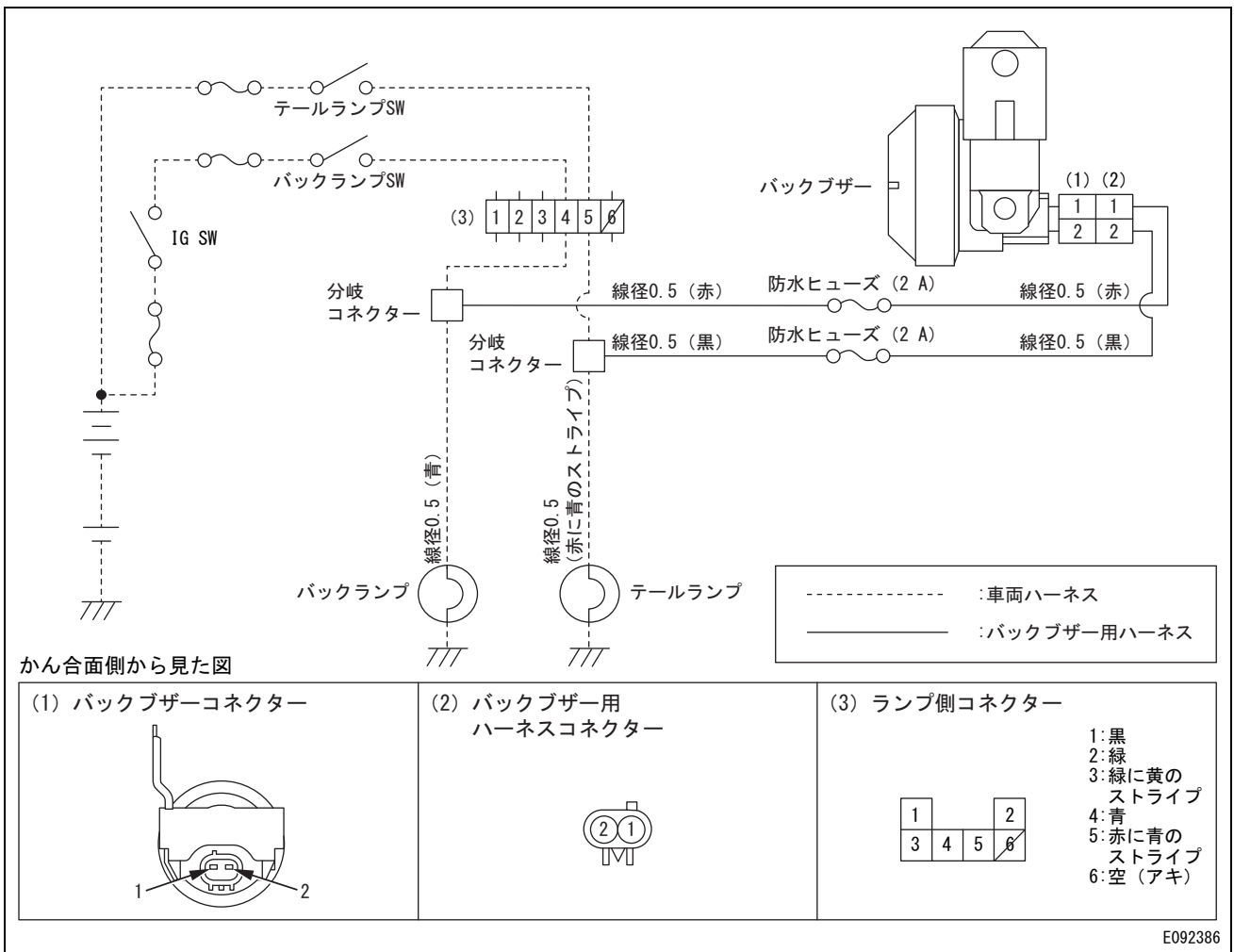
### ■バッテリー復元時の注意事項

#### △注意

バッテリー復元作業終了後に、車両機能部品の初期化が必要な部品があります。作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

[インテリジェントクリアランスソナー付き車でバッテリーの(-)端子を取りはずした場合は、GTS等のツールが必要な場合があります。サービスマニュアルをご参照の上、初期化作業を行ってください。]

## 配線図



## 仕様

仕 様	
公 称 電 圧	12 V
電 流	50 mA 以下
作 動 電 圧 範 囲	10 ~ 14.5 V
使 用 温 度 範 囲	- 30 ~ + 80 °C
保 存 温 度 範 囲	- 40 ~ + 85 °C

#### 取り付け店殿へのお願い

- ・バックブザーを取り付けても、自動車を後退させようとするときは必ず車の後方の安全を確認するようお客様にご説明ください。
- ・このバックブザーは“夜間消音機構付き（テールランプが点灯すると不鳴となる。）”であることをお客様にご説明ください。